

# 令和5年度に向けた 政策要望



令和4年8月23日  
豊田市議会 市民フォーラム

〈代表〉中村 孝浩 〈幹事長〉日當 浩介 〈政策審議会長〉塩谷 雅樹  
作元 志津夫 古木 吉昭 吉野 英国 鈴木 孝英 中尾 俊和 倉山 和之 山本 義勝

# 目次

1	はじめに	1
2	要望内容一覧	2
3	令和5年度豊田市への要望	3
4	引き続き注視する項目	14

## 《参考》

1	令和4年度政策要望の回答に対する評価	15
---	--------------------	----

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



○「SDGs 未来都市とよた」として2030年のあるべき姿を描き、持続可能な開発目標の達成に向け先進的に取り組む。

○具体的な要望の本文にも、関わるゴールを図示しています。

## 1 はじめに

市民フォーラム代表 中村孝浩

---

日本を取り巻く情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の不安やエネルギー原材料等の物価高騰の影響により、産業や国民の生活に大きな打撃をあたえています。

更には、本市の基幹産業をはじめとする企業では、グローバルな部品供給不足などの新たな課題に直面しており、これらの課題解決に向け、よりタイムリーな施策を産官学金が一体となり取り組んでいくことが求められています。

また、本市の財政状況は、法人市民税の一部国税化や社会保障費の増加などにより、引き続き厳しい財政運営が予測されています。この厳しい環境に対応していくためにも、第8次豊田市総合計画後期実践計画の目指す姿の実現に向けて、ストックマネジメントや社会保障への対応など、適切な行政運営とともに大胆な事業事務の最適化を推進して持続可能なまちづくりを進めていくことが必要です。

今後も、市民の安全安心を最優先にSDGsやカーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーなどの世界共通の課題に取り組むとともに、産業の持続的発展と市内経済の活性化に努めて、くらしの豊かさを実現するために、働く者の代表として私達市民フォーラムでは議論に議論を重ね令和5年度に向けた政策要望とさせていただきます。

---

## 2 令和5年度 豊田市への要望内容一覧

具体的要望は、本市がかかえる社会的課題に対して市民の想いを形にする部局横断的な政策内容として、5つの柱を軸に要望を取りまとめ、21のカテゴリーで32項目の政策要望とさせていただきました。

### 安心して暮らせるまちづくり

- 犯罪から市民を守る取組 ..... P 3
- 交通事故削減に向けた取組 ..... P 3
- 災害対応に向けたICT環境整備の促進 ..... P 4
- 消防力の強化 ..... P 4

### 学び・育むまちづくり

- 学校教育におけるICT活用の更なる充実 ..... P 5
- 休日部活動の円滑な運営に向けた取組 ..... P 5
- 保育の質的向上への取組 ..... P 6
- 子どもの権利を守る取組 ..... P 6

### くらしを支えるまちづくり

- マイナンバーカードの利便性向上 ..... P 7
- 建設業における公共工事の適正化 ..... P 7
- 自治体DXによる業務改善の推進 ..... P 8
- 更なる歳入確保に向けた取組 ..... P 8
- 道路の適切な維持管理に向けた取組 ..... P 9
- 水道の健全経営に向けた取組 ..... P 9
- 市内産業の活性化に向けた取組 ..... P10

### 共に支えあうまちづくり

- カーボンニュートラルの実現に向けた取組 ..... P11
- 超高齢社会への対応 ..... P11
- 地域における移動支援の取組 ..... P12
- 持続可能なまちづくりに向けたSDGsの推進 ..... P12

### 魅力を共感するまちづくり

- 大規模イベントを生かしたまちづくり ..... P13
- 山村地域の持続可能な環境整備の推進 ..... P13

### 3 令和5年度 豊田市への要望

#### 安心して暮らせるまちづくり

要望内容	<b>犯罪から市民を守る取組</b>
------	--------------------

具体的内容	①詐欺被害の未然防止
取り上げた理由	<p>サイバー犯罪や特殊詐欺は年々増加傾向にある。巧妙に手口を変え、痕跡が残りにくい犯行を容易に反復できるため、今後も被害が拡大すると想定されていることから、このような犯罪から市民を守る対策の強化が求められる。</p> <p>①犯罪に狙われやすい高齢者に向け、犯行に利用された詐欺電話の体験サービスなど、新たな手口を迅速にアップデートした対策の強化や、成人年齢引き下げに伴う消費者トラブル等の予防啓発の拡充を図り、被害を未然に防ぐ必要がある。</p>





要望内容	<b>交通事故削減に向けた取組</b>
------	---------------------


具体的内容	①歩行者保護に向けた対策の推進
取り上げた理由	<p>歩行者が被害者となる交通事故を防ぐためには、ドライバーに対する歩行者保護の推進に加えハード対策の取組を進めることが求められる。</p> <p>①ゾーン 30 が設置できない生活道路において、地域要望を踏まえ速度抑制につながる狭窄対策や学校周辺の横断歩道における安全対策の早期実現と体制強化が必要である。</p>





要望内容	<b>災害対応に向けた ICT 環境整備の促進</b>
------	-----------------------------

具体的内容	<p>①避難所における Wi-Fi 整備促進 ②生活再建に向けた被災者支援システムの導入</p>
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="150 719 304 875"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div data-bbox="150 891 304 1048"> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  </div>	<p>頻発化、激甚化する自然災害に対し、発生前から救助・救済までを円滑に行うためにも ICT を有効活用して、減災や復旧業務の分散化による共助の体制整備が求められる。</p> <p>①確実な情報収集や伝達ができる通信環境の構築に向け、Wi-Fi を避難所に整備するなど、正確な情報把握と対応につなげる必要がある。</p> <p>②被災者台帳作成や罹災証明書の遠隔対応ができるクラウド型被災者支援システムを導入し、被災者に対する迅速な生活再建への対応とともに、他自治体からの応援体制を整備することが必要である。</p>


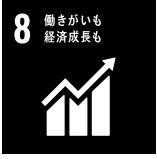
要望内容	<b>消防力の強化</b>
------	---------------

具体的内容	①先進技術の導入による消防力の向上
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="150 1727 304 1883"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div>	<p>消防の現場は、一刻を争う消火活動と同時に消防隊員の安全確保が人命救助において重要である。そのためには、消防隊員が安全かつ効果的な救助活動ができる機能強化が求められる。</p> <p>①迅速な消防活動と消防隊員の安全確保の両立に向け、遮る視界の状態でも活動できる赤外線カメラなど、先進技術を積極的に導入し消防力の向上を図ることが必要である。</p>

要 望 内 容	<b>学校教育における ICT 活用の更なる充実</b>
---------	------------------------------


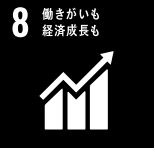
具体的内容	①タブレットの有効活用に向けた体制の構築
取り上げた理由  	学校教育のICT化を子どもたちの育成や教員の負荷軽減にも有効活用していくことや、新たな感染症など、不測の事態における休校や休学においてもオンラインで授業に参加できる環境の拡充が求められる。  ①タブレット等を有効に活用していくため、学校の要望に応じてタイムリーに支援できる体制の構築に向け、ICT 等のアドバイスが出来る退職教員を活用した支援の拡充が必要である。

要 望 内 容	<b>休日部活動の円滑な運営に向けた取組</b>
---------	--------------------------




具体的内容	①休日部活動の支援体制の構築
取り上げた理由  	令和5年度から順次開始される休日部活動の運営は、想定外の事案も予想される。子どもの健全育成を推進するため、今後発生し得る様々な問題に対処し十分な支援ができる体制が求められる。  ①休日部活動のあらゆる問題に対し、運営主体などの相談や支援に関する窓口を設けて、包括的に対応できる協議会の構築が必要である。



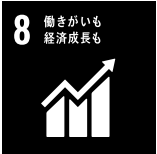

要望内容	<b>保育の質的向上への取組</b>
------	--------------------

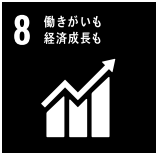


具体的内容	①保育ドキュメンテーション※ <sup>1</sup> の有効活用
取り上げた理由  	<p>未就学児の健全育成のためにも、保育士の負荷軽減と更なる保育の質の向上を目指した、日常業務の効率化につながるICTの推進を図る取組が求められる。</p> <p>①保育業務支援システムにおける保育の質の向上や、事務作業の効率化が期待できる保育ドキュメンテーション※<sup>1</sup>機能の有効活用に向け、保育士個々のスキルアップ等の人材育成やフォロー体制の構築が必要である。</p> <p>※<sup>1</sup> <u>保育ドキュメンテーション</u>          毎日の記録を写真とコメントで残し、保育の振り返りや次の計画に生かしたり、保護者との良好な関係の構築などに活用できる保育手法。</p>

要望内容	<b>子どもの権利を守る取組</b>
------	--------------------




具体的内容	①新たな子ども総合相談窓口設置に向けた人材育成 ②ヤングケアラーの早期発見に向けた取組
取り上げた理由   	<p>子どもの権利を守るためにも、健やかな成長を見守る環境づくりに加え、子どもを取り巻く様々な問題の早期発見やそれぞれの事案に応じた適切な支援が求められる。</p> <p>①国のこども家庭庁の設置により地方自治体において、こども家庭センター※<sup>1</sup>の設置が予定されるなか、本市の特徴を捉えた運営方針や専門知識を有する人材の育成が必要である。</p> <p>②ヤングケアラーの早期発見のため、福祉・教育等の分野における横断的な調査体制を充実するとともに、国県からの情報収集に努めていく必要がある。</p> <p>※<sup>1</sup> <u>こども家庭センター</u>          子育てにおける総合的な相談に対して受け付け、関係機関や担当者につながる窓口。R6年4月より運営予定。</p>




<p>要望内容</p>	<p><b>マイナンバーカードの利便性向上</b></p>
<p>具体的内容</p>	<p>①カードアプリケーション<sup>※1</sup>による公共サービス拡大</p>
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="204 663 360 815"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div data-bbox="204 831 360 983"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div>	<p>ウイズコロナにおける暮らしの質の向上や地域の活性化のため、行政のデジタル化による事業事務の最適化に加え、市民へのマイナンバーカード活用に向けた多様なサービスの拡大が求められる。</p> <p>①マイナンバーカードの利活用として、本市の公共サービスと連携し、市民の利便性向上となるカードアプリケーション<sup>※1</sup>によるシステム構築への取組が必要である。</p> <p><u>※1 カードアプリケーション</u> マイナンバーカードの IC チップの空き領域へ各自治体が登録でき、マイナポータル以外で住民のためのサービスに利用が可能。</p>

<p>要望内容</p>	<p><b>建設業における公共工事の適正化</b></p>
<p>具体的内容</p>	<p>①建設キャリアアップシステム<sup>※1</sup>導入に向けた取組</p>
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="204 1507 360 1659"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div data-bbox="204 1675 360 1827"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div data-bbox="204 1843 360 1995"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div>	<p>労働環境を確保するため、国は建設キャリアアップシステムを令和5年度から原則化の方針を示しており、本市としても公共工事の入札における適正化に向けた導入への検討が求められる。</p> <p>①公契約の適正な履行に向け、建設キャリアアップシステム<sup>※1</sup>を入札条件に織込んだモデル工事を推進し、県や建設業協会と連携した実証への取組が必要である。</p> <p><u>※1 建設キャリアアップシステム</u> 技能者の ID 登録から日々の就業実績、資格や技能を電子的に記録・蓄積され、技能者の評価や処遇の改善につながる。</p>


要望内容	<b>自治体 DX による業務改善の推進</b>
------	--------------------------

具体的内容	<p>①衛星データの広域取得に向けた取組</p> <p>②データセンター※<sup>1</sup>の誘致に向けた取組</p> <p>③オープンデータ化の早期実現</p>
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="146 730 301 887"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div data-bbox="146 904 301 1061"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div data-bbox="146 1079 301 1236"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div>	<p>地域の課題解決や庁内業務の効率化への進展として、あらゆるデータの収集によるビッグデータの活用や AI での処理など、デジタル基盤の整備による業務改善や市民サービスへの取組が求められる。</p> <p>①庁内における巡視確認業務など、衛星データ活用による業務改善を評価したうえで、今後、多様な分野への活用を全庁的に研究し、国県との広域取得を含めた戦略的かつ効率的な取組が必要である。</p> <p>②国の方針であるデータセンター※<sup>1</sup>の地方分散の展開や、本市の将来的なデジタル基盤の構築に向け、データセンターの誘致につなげるための調査研究が必要である。</p> <p>③二次利用しやすいオープンデータを増やし、庁内部局間での活用やデータから新たなサービスへつなげるため、各部局によるデータ化の早期実現に向けたロードマップの策定が必要である。</p> <p style="text-align: center;">※<sup>1</sup> データセンター サーバーやネットワーク機器を設置し、災害に強い地盤に建設。5G・自動運転・AI のビッグデータ処理などデジタル化への進展に対応。</p>



要望内容	<b>更なる歳入確保に向けた取組</b>
------	----------------------

具体的内容	①ふるさと納税による財政収入の促進
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="146 1827 301 1984"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div>	<p>近年、ふるさと納税による税収が流出し財政に影響が出ているなか、本市においても地域産業の活性化や歳入確保に向け、選んでいただけるふるさと納税の取組が求められる。</p> <p>①ふるさと納税の更なる寄付金の獲得に向け、ニーズに沿った返礼品の充実と、利用施設などにふるさと納税自動販売機を設置し、来訪者が簡単に寄付できる環境整備が必要である。</p>

要望内容	<b>道路の適切な維持管理に向けた取組</b>
------	-------------------------





具体的内容	<p>①道路舗装に係る新素材の積極的活用 ②道路デジタルメンテナンス戦略の推進</p>
<p>取り上げた理由</p> 	<p>安全な道路ネットワークを持続的に維持するため効果的な手法を活用することで、顕著化する高度経済成長期に建設された道路施設の老朽化や災害の激甚化に備えることが求められる。</p> <p>①道路舗装に係る耐久性の高い新素材の活用面積拡大を推進し、ライフサイクルコストの低減と安全確保につなげる必要がある。</p> <p>② ICT や AI などの新技術を活用したメンテナンスオペレーションを構築し、デジタルによる効率的な道路維持管理に転換する必要がある。</p>

要望内容	<b>水道の健全経営に向けた取組</b>
------	----------------------


具体的内容	①水道施設の最適化
<p>取り上げた理由</p>  	<p>水道事業を取り巻く環境は人口減少による給水収益の減少、施設の老朽化など急速に厳しさを増しており、水道事業の持続可能な経営を確保するためには、水道の基盤強化を進める必要がある。</p> <p>①効率的な水運用に向け、より効果の高い水道施設から順次統廃合を進め、施設の最適化を図るとともに水道事業の基盤強化につなげる必要がある。</p>

要望内容	<h2 style="text-align: center;">市内産業の活性化に向けた取組</h2>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①豊田市カーボンニュートラル創設促進補助金の対象拡大</li> <li>②新たな企業立地への取組</li> <li>③次世代航空モビリティ<sup>※1</sup>の産業化に向けた伴走型支援</li> </ul>
<p>取り上げた理由</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px;"> <p><b>7</b> エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px;"> <p><b>8</b> 働きがいも 経済成長も</p>  </div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px;"> <p><b>9</b> 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p>  </div> </div>	<p>市内産業の将来的な構造変化に潜在する不確実性への備えとして、企業の抱える諸課題への支援と同時に、技術を生かした新分野・新市場への進出支援や企業誘致を通じて豊かな雇用と経済を守る取組が求められる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①既存事業である創エネ設備の導入に対する補助制度に加えて、省エネ設備にも対象拡大を図ることで、エネルギーコスト増への対応や環境課題に取り組む中小企業に対する支援の拡充を図ることが必要である。</li> <li>②企業立地の進出意向が供給より高いことを踏まえ、新たな企業立地に向けた取組を通じて、市内経済と雇用の維持向上につなげる必要がある。</li> <li>③次世代航空モビリティ<sup>※1</sup>の高い市場成長予測を鑑み、市内における活用の検討や市内企業を巻き込んだサプライチェーンの構築など、産業化に向けた伴走型支援を図る必要がある。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><u>※1 次世代航空モビリティ</u> ドローンや空飛ぶクルマなど。空飛ぶクルマの将来的な市場規模は約160兆円と推定され、市内では(株)SKY DRIVEが事業化に向けて開発中。</p>




要望内容	<b>カーボンニュートラルの実現に向けた取組</b>
------	----------------------------

具体的内容	<p>①脱炭素先行地域選定への取組</p> <p>②公共施設への創エネ設備設置に向けた取組</p> <p>③成果事例の活用による市内事業者への啓発強化</p>
<p>取り上げた理由</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 5px;"> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>7</b> エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>  </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>11</b> 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>12</b> つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>13</b> 気候変動に 具体的な対策を</p>  </div> </div>	<p>脱炭素社会の確立に向けて、官民それぞれが取組を進めることが重要であり、国や企業と連携した事業の推進による新技術を活用した再生可能エネルギーなどの普及促進が求められる。</p> <p>①国が公募する脱炭素先行地域に選定された他市の状況を見極めながら、産学官での連携による再生可能エネルギーの導入に向け、再応募への更なる取組が必要である。</p> <p>②市が所有する施設等への創エネ設備の普及を促進するため、民間が運営する初期投資やランニングコスト等がかからない PPA 事業等の創エネ設備設置の検討が必要である。</p> <p>③市内事業者への脱炭素参画促進のため、脱炭素スクールの成果事例等を公開し、脱炭素社会の実現に向けた意識の醸成に取り組む必要がある。</p>




要望内容	<b>超高齢社会への対応</b>
------	------------------



具体的内容	①認知症サポート事業所認定制度の導入
<p>取り上げた理由</p> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>3</b> すべての人に 健康と福祉を</p>  </div>	<p>認知症高齢者の増加に備え、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、市域全体で見守る体制の整備が求められる。</p> <p>①認知症サポートを実施している事業所の認定制度を設け、認定事業所を増やすとともに、勤める人もサポーターとして見守る体制を拡充していくことが必要である。</p>



要望内容	<b>地域における移動支援の取組</b>
------	----------------------

具体的内容	①自動運転の実装に向けた整備推進
<p>取り上げた理由</p> <p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p>  <p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>高齢化の進展にともない、認知機能低下による交通事故の抑制や車を持たない方の移動への対応とともに、ドライバー不足の解消として自動運転など先進技術を活用した移動支援が求められる。</p> <p>①公共施設の敷地など自動運転の実装エリアを選定し、自動運転に係るインフラ整備等を豊田市つながる社会実証推進協議会との協働により、レベル4※1の運用に向けた取組が必要である。</p> <p><u>※1 レベル4</u> ドライバー不在で走行し、自動運転システムが運行設計領域を外れた際にも安全に停止することが可能。</p>

要望内容	<b>持続可能なまちづくりに向けたSDGsの推進</b>
------	------------------------------

具体的内容	①SDGsパートナー認定制度の早期実現と運用
<p>取り上げた理由</p> <p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>  <p><b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう</p> 	<p>とよた SDGsパートナーにおける SDGsの活性化のため、市内事業者に対し投融资機会の拡大など、金融面等のサポートを図る取組が求められる。</p> <p>① SDGs評価指標による認定制度を構築し、企業や団体等の取組評価の見える化により、金融フレームワーク※1による金融機関からの融資やビジネスマッチング等につなげる伴走型支援が必要である。</p> <p><u>※1 金融フレームワーク</u> 国が提唱する地方創生 SDGs に取り組む地域事業者と金融機関等を地方公共団体がつなぎ、自律的好循環を形成することによって、地域における資金の還流と再投資を生み出す仕組み。</p>

<p>要望内容</p>	<p><b>大規模イベントを生かしたまちづくり</b></p>
<p>具体的内容</p>	<p>①ジブリパークと連携した交流人口の拡大 ②WRCを生かした地域資源の発掘 ③持続可能なWRC運営に向けた取組</p>
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="204 734 359 891"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div data-bbox="204 898 359 1055"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div>	<p>ジブリパークの全エリア開園や本市が主催者となる WRC の開催による経済波及効果は令和5年以降で最大となる。相乗的な交流人口の拡大に向けた取組を通じて、本市の魅力向上と地域経済の活性化につなげることが求められる。</p> <p>①ジブリパーク全エリア開園による相乗効果を意識したイベント開催や交通、宿泊等の環境整備を進め、本市への誘導につなげる必要がある。</p> <p>②本市が主催者となる WRC の開催に合わせ、地域資源の活用を独自に推進することで市の魅力発信や市内製品の販売促進につなげる必要がある。</p> <p>③持続可能な運営主体としていくためにも、競技で使用するコースに名前を付けるネーミングライツ等の権利の販売や、ふるさと納税による収益を確保していくことが必要である。</p>

<p>要望内容</p>	<p><b>山村地域の持続可能な環境整備の推進</b></p>
<p>具体的内容</p>	<p>①山村地域の情報通信基盤の整備と活用</p>
<p>取り上げた理由</p> <div data-bbox="204 1653 359 1809"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div data-bbox="204 1816 359 1973"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div>	<p>山村地域の振興における経済の活性化と暮らしを支えるため、新たな就業機会の創出や農林業の担い手不足の課題解決を推進し、山村の魅力や価値を生み出す取組が求められる。</p> <p>①山村地域における雇用の創出や事業継続に向け、先進技術や ICT の活用を推進するため、豊田市つながる社会実証推進協議会との協働によるローカル 5G<sup>※1</sup> 活用モデル創出への取組が必要である。</p> <p>※1 ローカル 5G 企業・自治体などがニーズや目的に応じ、スポット的に構築・運用できる 5G ネットワーク。</p>



#### 4 引き続き注視する項目

下記の項目については、引き続き取組を注視します。

常任委員会	項 目
企画総務	▷ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)の取組拡大
地域生活	▷災害情報のプッシュ型情報伝達手段の確立
教育社会	▷いじめ対応に向けた体制強化
環境福祉	▷障がい者の社会参加支援 ▷持続可能な子ども食堂の支援体制の構築
産業建設	▷デジタル技術導入の支援拡大

《参考》

1 令和 4 年度 政策要望の回答に対する評価

要望内容	<b>安全な道路環境の整備</b>
具体的内容	①カラー舗装化などの視覚的効果の活用
取り上げた理由	①生活道路におけるカラー舗装化等に向けた一層の取組をつうじて、安全な道路環境を確保する必要がある。
主な回答内容	①交差点のカラー舗装化や錯視的ハンプ路面標示など、視覚的効果により速度抑制や交差点での確実な停止の確保が期待できる交通安全対策を進めていく。
評価	①視覚的効果による安全な道路環境への取組を評価する。今後、一層の道路カラー舗装化が図られ、だれもが安心して利用できる道路環境が確保されることを期待する。
①—○	

要望内容	<b>犯罪から市民を守る取組</b>
具体的内容	①特殊詐欺の動向を踏まえた注意喚起の拡大
取り上げた理由	①詐欺手口の検証をしたうえで実行的な特殊詐欺防止講座の拡大や、行政配布物に啓発チラシを同封するなど、タイムリーな注意喚起を図る必要がある。
主な回答内容	①手口も年々多種多様化していることから、効果的な対策の検証を通じて、市民の自己防衛力の向上につなげていく。被害等が発生した場合は、迅速に緊急メールとよた、市ホームページ、防災行政無線、防災ラジオなどで注意喚起を行っていく。また、地域安全巡回業務の内容を一部見直し、無人のATM設置施設などへの巡回を新たに追加し、注意喚起の機会を増やしていく。
評価	①多種多様化する特殊詐欺の手口に対する注意喚起の強化や新たな取組を評価する。今後も効果的な対策の検証を通じて市民の自己防衛力の向上に向けた取組を図り、大切な財産が守られることを期待する。
①—○	

要望内容	<b>災害から命を守る情報伝達手段の確立</b>
具体的内容	①防災ラジオの普及に向けた個別通知 ②プッシュ型情報伝達手段の確立
取り上げた理由	①防災ラジオを所有していない世帯主に対し、災害リスクの高い優先区域を定め個別に通知をすることで、普及に向けた段階的な促進を図る必要がある。 ②広大な市域の中でも、細分化した地域の災害情報が得られるプッシュ型情報伝達手段や、安否確認等が行えるシステムの確立が必要である。
主な回答内容	①災害時の情報伝達機能の強化を図るため、災害リスクの高い高齢者世帯にダイレクトメールを行い防災ラジオの普及につなげた。今後は、浸水や土砂災害などの災害リスクが高い地域を中心に、防災ラジオの普及促進を図る。 ②プッシュ型情報伝達手段として、引き続き緊急メールとよたや防災ラジオの普及促進を図っていく。また、防災アプリなど安否確認等が行えるシステムについても検討を進めていく。
評価	①災害リスクの高い世帯に向けた重点的な防災ラジオの普及促進を評価する。市内における防災ラジオの所有は増加しているが、まだ必要とする市民は多いと考える。今後一層の取組を通じて、逃げ遅れゼロに向けた確実な災害情報の伝達が図られることを期待する。 ②防災アプリなど安否確認等が行えるシステムの検討をはじめとする災害情報の伝達強化に向けた取組を評価する。今後、様々な情報伝達手段の検討を通じて、広範性、即時性、高参照性など、それぞれの情報特性を生かした情報伝達手段が確立されることを期待する。
①—○	
②—○	

要望内容	<b>水害から上下水道機能を守る取組</b>
具体的内容	①上下水道施設浸水対策の推進
取り上げた理由	①上下水道施設耐水化計画の積極的な推進により、災害に強い上下水道機能を早期に整備する必要がある。
主な回答内容	①河川氾濫等の災害時においても一定の上下水道機能を確保するため、「豊田市上下水道施設耐水化計画」を令和3年度に策定し、優先順位に基づき、洪水により機能停止するリスクが確認された施設の耐水化に向け必要な対策を行っていく。
評価	①上下水道機能を確保するための、施設の耐水化を図ることを評価する。リスクが確認された施設への対策を迅速に行うことで、近年頻発する水害による市民生活への影響を最小限にすることを期待する。
①—○	

要望内容	<b>消防力の強化</b>
具体的内容	①消防用ドローンの本格運用にともなう環境整備
取り上げた理由	①消防用ドローンの更新による視認性や操作性の向上などの機能強化を図り、活用領域と効果の更なる拡大につなげる必要がある。
主な回答内容	①令和元年度から3年間の検証結果を踏まえ、衝突防止センサーやズームカメラ等の新たな機能を備えた消防用ドローンを整備するほか、24時間の運用や映像通信機能の活用により情報収集能力の向上を図っていく。
評価	①新たな機能を備えた消防用ドローンの整備や24時間の運用や映像通信機能の活用により情報収集能力の向上を図っていくことを評価する。更なる機能強化を通じて、火災現場や河川での人命救助など、消防力の強化が一層推進されることを期待する。
①—○	

## 学び・育むまちづくり

要望内容	<b>部活動の健全化に向けた支援</b>
具体的内容	①休日部活動の地域移行に向けたしくみ構築 ②地域部活動指導者の確保
取り上げた理由	①休日部活動の地域移行に向け地域や団体への理解を推進しモデル校の立上げによるしくみ構築や連携を行い、地域性を考慮した環境整備が求められる。 ②休日部活動の運営には指導者の確保が課題となるため、人材バンクの創設などあらゆる手段により人材を確保し、部活動とのマッチング支援を推進するとともに、指導者の質を高める研修会を開催する必要がある。
主な回答内容	①新たに地域部活動のモデル校を増やし、地域学校共働本部だけでなく、スポーツ・文化関係の地域団体との連携に向けて調整を進めていく。 ②希望する教職員の兼職兼業の構築や、人材のマッチングを支援する団体等の確保を進め、企業、大学及び競技団体等との連携強化を図る。また指導者へは地域部活動モデル事業実施要領等により、趣旨や実施方法の周知徹底をしていく。
評価	①しくみ構築に向け、地域学校共働本部だけでなく、地域団体との連携推進を評価する。今後は新たなモデル校の立上げにともない、実施要領の確立に向け環境整備されることに期待する。 ②人材マッチングによる人材確保に向けた支援を進めることを評価する。今後は人材の確実な確保に加え、指導者への研修開催などにより指導力の向上が図られることに期待する。
①—○	
②—○	

要望内容	<b>ICTを活用した学習能力の向上</b>
具体的内容	<b>①デジタル学習ドリル活用による学習能力向上</b> <b>②配慮が必要な児童生徒への支援</b>
取り上げた理由	①教員の多忙化解消や児童生徒の学習能力向上のため、個々の学習状況を迅速に把握し児童生徒へ適切な指導が行えるデジタル学習ドリルなどの導入支援が必要である。 ②授業に配慮が必要な児童生徒に対し、学習用タブレットを活用したオンライン授業のしくみ構築など学習環境の整備を促進する必要がある。
主な回答内容	①ネットワーク統合による校務系パソコンと学習用タブレットの連携強化に合わせ、デジタルドリル教材を導入することで、児童生徒一人ひとりの特性に応じた個別最適な学びの実現と学力向上を図っていく。 ②パークとよたの教育支援センターでタブレットが使える環境を整備し、学校と連携により充実した支援を行う。また支援が必要な児童生徒へ、マルチメディアデージー教科書の活用を推進していく。
評価	①学校教育の情報化プランにおける校務ネットワーク統合やデジタルドリル教材の導入を整備していくことを評価する。今後はこの事業によって個別最適な学びの実現と、教員の多忙化解消につながることを期待する。
①—○ ②—○	②不登校児童生徒等への学習支援のため、支援施設のWi-Fi環境の整備が図られることを評価する。後は学校との連携により支援が必要な児童生徒一人ひとりに応じた学習環境が整備されることに期待する。

要望内容	<b>子育て支援の充実</b>
具体的内容	①ファミリー・サポート・センター協力会員の拡大 ②子どもの居場所づくりの拡大
取り上げた理由	①子育てサポートの需要に対応するため、ファミリー・サポート・センターの協力会員の拡大に向け、民間事業所など幅広い人材の発掘が必要である。 ②保護者の不安や子どもがひとりで過ごすストレスに対し地域や子ども同士の交流の場となる子どもの居場所づくりの拡大を推進し、地域や団体と連携した環境整備が必要である。
主な回答内容	①民間事業者と幅広い人材の確保のための具体的な手法等の検討を進めていく。 ②地域学校共働本部へ情報発信し、学校敷地内で実施が増えるよう拡大に取り組む。また市民団体等による自主運営型の居場所づくり活動を支援していく。
評価	①人材の確保のため、これまでの民間事業者へのアプローチと具体的手法の検討を評価する。今後は協力会員拡大に向け、企業や地域団体等への周知に向けた取組が図られることに期待する。 ②学校敷地内での居場所づくりの拡大を評価する。今後は地域のニーズを捉え、地域学校共働本部との連携による子どもの居場所づくり事業の拡大が図られることに期待する。
①—○	
②—○	

## くらしを支えるまちづくり

要望内容	<b>公共施設の最適化に向けた取組</b>
具体的内容	①公共施設の適正配置による維持管理費の縮減
取り上げた理由	①施設の集約化、複合化を進めるためには、維持管理縮減の目標値設定とともに、付加価値をつけるなど地域住民の理解が得られる取組が必要である。
主な回答内容	①将来の目標設定に向けて、管理手法の見直しや効果的な指標の在り方について定性的・定量的な面から検討を行うなど、公共施設等総合管理計画の更なる推進を図る。公共施設の再編は、費用面や地域住民などへの影響も含め総合的な視点から検討を行う。
評価	①目標設定に向けて管理指標の見直しや、公共施設の最適化に向けた評価指標の検討を評価する。今後は早期に目標を明確にして具体的な取組を計画的に進め、公共施設の最適化につながることに期待する。
①—○	



要望内容	<b>自治体デジタル・トランスフォーメーションの推進</b>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①デジタル化によるスマート窓口の早期実現</li> <li>②AIの積極的な活用による業務の効率化</li> <li>③人材育成によるデジタル化の推進</li> </ul>
取り上げた理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>①窓口「行かない」を目標に、まずは「書かない」「待たない」を実現させるためには、窓口申請においてタブレットやスマホを活用した申請を導入し市民サービスの向上につなげる必要がある。</li> <li>②AIを活用して業務の効率化および事務改善を図るには、デジタル強靱化戦略に基づきAI相談支援システムの調査研究等を進め、早期導入することが必要である。</li> <li>③デジタル化に向けた知識の向上とコンプライアンスの強化のためには、ITを活用した業務改善力が身につくITパスポートなどの資格を各部局推進員に取得させる必要がある。</li> </ul>
主な回答内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①あいち電子申請・届出システムの活用及び拡充を推進していくと共に、申請書作成や異動情報入力を自動化するタブレット端末等を使用した「(仮称) 窓口支援システム」を構築し、導入を進める。</li> <li>②過去の相談データをAIに学習させながら、機能向上等を中心に検討を進めてきた。引き続き、福祉総合相談課・子ども家庭課と連携してAIを活用した相談業務の効率化及び市民サービスの向上に取り組んでいく。</li> <li>③現在、ITパスポート及びディープラーニングG検定に関する勉強会を職員が講師となり実施している。また、資格取得などに関して受験料の助成サポートや情報提供などを実施しており、今後も継続して実施していく。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>評 価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①—○</li> <li>②—○</li> <li>③—○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①スマート窓口に向けた電子申請の活用・拡充の推進や申請書作成等を自動化する「(仮称) 窓口支援システム」の構築・導入に向けた取組を評価する。今後は、タブレット端末等の活用促進により、まずは「書かない」窓口の早期実現に期待する。</li> <li>②民間企業との共同研究による機能向上等の検討を、継続して取組むことを評価する。今後は庁内展開を進め、更なるAIの活用と相談業務の効率化及び市民サービスの向上となることに期待する。</li> <li>③勉強会の拡大や様々な階層での研修の追加など、知識向上に向けた取組を評価する。今後もデジタル化推進本部員等を中心に進めるとともに、職場ごと主体的にデジタルを学ぶ機会の創出など職員の意識改革と人材育成の取組に期待する</li> </ul>

要望内容	<b>更なる民間活力の導入による歳出抑制</b>
具体的内容	①ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）の取組拡大
取り上げた理由	①SIBの手法は、これから他の取組にも生かせるものであるため、令和3年度の取組を検証するとともに、他の分野へ積極的に導入していく必要がある。
主な回答内容	①介護予防分野以外で効果が期待できる分野を選定できれば、各部署と共に具体的な協議を行っていく。またプロジェクトに対する効果測定を行い、運用上の課題や他分野での活用可能性の整理など、制度自体の評価検証を行っていく。
評価	①事業期間中における他分野への検討や制度の評価検証を行うことを評価する。今後は分野が拡大していくことで、効果的な歳出抑制につながることに期待する。
①—○	

要望内容	<b>公共交通の充実に向けた取組</b>
具体的内容	①道路運送法改正にともなう多様な移動支援の充実
取り上げた理由	①道路運送法の改正によって可能となった交通サービスを空白地区や中山間地区に導入するなど従来の交通サービスと組み合わせ、地域の実態に即した効率的な交通インフラを充実する必要がある。
主な回答内容	①法改正により可能となった事業者協力型自家用有償運送や地域住民による共助的移動サービスの活用など、地域の実態に即した多様な移動手段の導入や、新技術の活用による地域交通の充実を目指していく。
評価	①地域の状況を踏まえた移動手段確保に向け、柔軟に対応していくことを評価する。今後は導入した移動手段を検証しながら、その地域に適した持続可能な移動方法が確立されることを期待する。
①—○	

要望内容	<b>産業構造の変化への対応</b>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基幹産業の変革に向けた支援</li> <li>②スタートアップを活用した中小企業支援</li> <li>③デジタル技術導入の支援拡大</li> </ul>
取り上げた理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>① CASE やカーボンニュートラルの技術開発が進むなか、中小企業においても新技術への知見を得るための支援や設備等の環境整備の支援が必要である。</li> <li>② 中小企業が今後の産業変革に対応できるよう、スタートアップとの協働を推進することによるイノベーション創出の支援が必要である。</li> <li>③ 中小企業のデジタル化を強化するために、中小企業の実態やニーズを踏まえ中小企業デジタル化支援補助金制度を継続するとともに、デジタル人材の育成を強化することが必要である。</li> </ul>
主な回答内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 企業立地奨励補助金等に加え、新たに新エネルギー設備導入等の支援を実施していく。また温室効果ガス排出量削減等の相談窓口を開設し、市内中小企業の脱炭素経営を支援していく。</li> <li>② 「次世代航空モビリティ協業ネットワーク」を軸に企業・団体間の協業の促進、実証実験の実施などのプロジェクトを進めるほか、更なる活動支援を行い、次世代航空モビリティの地域産業化を目指していく。</li> <li>③ デジタル化支援補助金を継続し中小企業のデジタル化を支援するとともに、デジタル人材の育成、確保等に係る経費の一部を補助していく。また新たにデジタル化を促進するプラットフォームを構築し人材育成や確保を支援する企業とのマッチングを行っていく。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>評 価</b></p> <p>①—○</p> <p>②—○</p> <p>③—○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 中小企業を取り巻く環境を踏まえ、新たな支援制度実施を評価する。脱炭素に向けた世界的な動きに、本市の中小企業が取り残されないよう、事業者が活用しやすい制度となることを期待する。</li> <li>② 次世代航空モビリティといった先進的な分野を活用して、中小企業とスタートアップの協業を進めることを評価する。今後も行政が中心となって、更に充実した中小企業への支援が行われることを期待する。</li> <li>③ 中小企業のニーズに応えるべく補助制度の充実や人材育成、確保へ新たな取組を評価する。今後は多くの中小企業がデジタル化を推進できるよう、個々の状況にあった支援の充実を期待する。</li> </ul>

要望内容	<b>道路の適切な維持</b>
具体的内容	① <b>先進技術を活用した道路点検の効率化</b>
取り上げた理由	①適切な道路の維持管理に向けAIによるドライブレコーダーの画像分析技術を活用し、道路の点検業務の高度化や効率化を図る必要がある。
主な回答内容	①AI等の先進技術を活用した道路点検技術の開発は様々な企業が行っているため、本市のニーズに合った効率的な道路点検技術について、試行運用等を踏まえ導入検討を進めていく。
評価	①人材不足や予算などの道路維持管理における課題解決に向けた取組を評価する。今後はAIによる点検技術の早期導入とともに、修繕や診断の効率化を進めることを期待する。
①—○	

要望内容	<b>ICTインフラ整備の取組</b>
具体的内容	① <b>5G整備拡大に向けた取組</b>
取り上げた理由	①5G基地局が設置可能な公共施設や市有地および今後開発を進める産業用地を公開し、民間による5G基地局の積極的な設置を促すことで、市民の利便性の向上や企業誘致につなげる必要がある。
主な回答内容	①国や通信事業者等の動向も注視しつつ、5Gを生かした新たなサービスへの取組に向けた調査・研究を進め、自治体として担うべき取組を見極め、市民の利便性向上や企業誘致等につなげる取組も継続的に検討していく。
評価	①民間事業者への働きかけを進め、自治体として担うべき取組を見極めながら取り組むことを評価する。今後は民間事業者のニーズやメリットなどを把握し効果的な5Gの整備を進めることを期待する。
①—○	

要望内容	<b>持続可能な地域産業への取組</b>
具体的内容	①地域産業の生産性向上への支援
取り上げた理由	①農業や建設業事業者のニーズを踏まえ作業の効率化や生産性向上に向け、自動化やICT技術の環境整備を進めるなど経営強化への支援が必要である。
主な回答内容	①農業者へは国、県の補助事業及び市の単独事業により、要望に応じた整備を支援。また建設業事業者へはデジタル化支援補助金の継続と導入の奉功事例を周知して、自動化やICT技術の環境整備等による経営強化を支援していく。
評価	①農業、建設業の人材不足の課題解決に向け、ICT技術導入の補助事業推進を評価する。今後は農業、建設業の実態を踏まえた支援を期待する。
①—○	

## 共に支えあうまちづくり

要望内容	<b>持続可能なまちづくりに向けたSDGsの推進</b>
具体的内容	①SDGsパートナー活動の活性化
取り上げた理由	①エコフルタウンの機能移転に向け、SDGsパートナーや市民の意見を集約し、機能の充実や情報発信拠点として強化するとともに、統合する博物館との連携も視野に入れた新たな取組が必要である。
主な回答内容	①とよたSDGsパートナーの活動の更なる行動促進を図るため、とよたSDGsパートナー認証制度を検討。また、SDGsに関する情報発信が博物館でも実施していけるよう引き続き、関係課等と調整し検討していく。
評価	①エコフルタウンの機能移転に向け、関係課やSDGsパートナー等と連携を図りながら検討していくことを評価する。今後は、認証制度によりSDGsに取り組む企業・団体の取組が強化され、本市のSDGsの更なる推進につながることに期待する。
①—○	

要望内容	<b>医療の危機管理体制の取組</b>
具体的内容	<b>①ワクチン接種の協力支援体制の構築</b>
取り上げた理由	①ワクチン接種で得たノウハウを生かし協力を頂いた医師会、潜在看護師、企業との緊急時等における医療体制の強化に向けた協定や協力体制を確立し、市民の命を守るしくみづくりが必要である。
主な回答内容	①新型コロナウイルスワクチン接種では、豊田加茂医師会や市内医療機関、企業、大学など様々な関係団体・関係者の協力・支援のもと、希望する市民への接種を進めている。また、ワクチン接種等を通じて得たノウハウや協力支援体制などの情報を蓄積し、今後の健康危機管理対応にも生かしていく。
評価	①ワクチン接種に関する知見やノウハウ、また協力支援体制など、健康危機管理対応に生かすことを評価する。今後、新たな感染症が発生した際には、迅速な体制が整備と実効性のある危機管理対応が行われることに期待する。
①—○	

要望内容	<b>地域で支える子どもへの支援</b>
具体的内容	<b>①持続可能な子ども食堂の支援体制の構築</b>
取り上げた理由	①子どもたちの健全育成と支援団体の円滑な運営のため、協賛者の拡大やふるさと納税を活用した基金を創設し、継続的な運営につながる支援が必要である。
主な回答内容	①子ども食堂の協賛者が直接寄付できるしくみや子ども食堂が主体的に運営資金を獲得できる新たな体制の構築に向けた支援を実施していく。ふるさと納税を活用した基金の創設については、社会福祉協議会の子ども基金の活用状況を踏まえ、その必要性を考えていく。
評価	①子ども食堂の継続的運営に向けた資金獲得の支援や、子ども基金の活用状況を踏まえ、ふるさと納税の活用に向けた必要性の検証を評価する。今後は、活動のPRも積極的に行い子ども食堂への支援の輪が全市的に広がることに期待する。
①—○	

要望内容	<b>カーボンニュートラルへの取組</b>
具体的内容	<b>①産学官連携によるCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロの研究</b> <b>②次世代自動車の普及促進に向けたインフラ整備</b> <b>③エネルギーを生みだす施設への転換</b>
取り上げた理由	<p>①カーボンニュートラルに向け、革新的な技術開発への研究に必要なフィールド提供をはじめ、産学官の連携を促す組織体制の確立に向けて、行政が主体となり事業運営を推進することが必要である。</p> <p>②脱炭素社会に向けた電動車の普及促進には、効果的な充電設備や水素充填ステーションのインフラ整備が重要である。そのために、利用ニーズを分析し適切な整備を推進する必要がある。</p> <p>③藤岡プラントの老朽化対応を契機に、ごみの焼却などで発生した熱やCO<sub>2</sub>を資源として再生する次世代プラントへ転換し、循環型社会の実現を目指すとともに、水素社会に向けた水素の地産地消への研究も進める必要がある。</p>
主な回答内容	<p>①産官学の連携による実証実験を実施し、カーボンニュートラルに向けた革新技术開発のためのフィールド提供を行うと共に、国が公募する脱炭素先行地域への応募に向け、協議会会員との連携を図りながら取組を推進する。</p> <p>②次世代自動車と充電施設分への一体的な補助をすることに加え、利便性向上等に向けた配置見直しなどを実施のうえ、更新していく。また、燃料電池自動車の普及促進のため補助制度の紹介や水素の製造工程の見学などを継続実施する。</p> <p>③新たなエネルギー・資源活用の最新技術や、国等における補助制度新設などの動向を注視し、今後、藤岡プラントの大規模改修工事を実施する場合には、エネルギー活用の可能性について、費用対効果等を踏まえて検討していく。</p>
評価	<p>①産官学の連携やフィールドの提供等を評価する。今後は行政が主体となり脱炭素先行地域へ再応募する等し、脱炭素につながることを期待する。</p>
①—○ ②—○ ③—○	<p>②インフラ整備における、利便性向上に向けた適切な配置見直しを評価する。今後は、国の動向を注視し、次世代自動車の普及促進につながることを期待する。</p> <p>③技術革新の動向を注視し、プラント改修に織り込むための検討を評価する。今後は、国等における補助制度などの活用を行ない施設の改修コストの削減とともに、発生する熱やCO<sub>2</sub>の有効活用ができる循環型の次世代プラントへの転換や、水素社会の実現に向けたエネルギー活用に期待する。</p>



要望内容	<b>高齢者の見守り支援</b>
具体的内容	①IoTを活用した独居老人の見守り
取り上げた理由	①見守りが必要な高齢者宅に「IoT電球」などの見守り家電を活用し、民生委員やケアマネジャーの負担軽減に加え、離れて暮らす家族の安心につながる高齢者の見守り体制への取組が必要である。
主な回答内容	①見守りが必要な高齢者について、令和3年度にIoT等を活用した見守りの実証の成果も踏まえ、IoT等を活用した見守りに関する調査、検討を進め、高齢者の安心の確保と民生委員等の負担軽減を図っていく。
評価	①IoT等を活用した見守り実証を踏まえ調査・研究を進めていくことを評価する。今後、デジタル技術の効果的な活用により、見守りを必要とする高齢者自身の安心と見守る関係者の負担軽減を図ることに期待する。
①—○	

## 魅力を共感するまちづくり

要望内容	<b>市内商業活性化への取組</b>
具体的内容	①広域連携による商業への支援
取り上げた理由	①新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、ジブリパークやWRCなど市内外の観光施設やイベント等を活用した相乗効果による宿泊喚起を進めるとともに、飲食等の利用促進に向けた支援が必要である。
主な回答内容	①ジブリパーク開業やWRCなどの観光資源を生かし、引き続き宿泊事業者への支援を実施していく。飲食店へは「WE LOVEとよた応援飲食券事業」の効果検証やキャッシュレス化の推進を踏まえ、キャッシュレスポイント還元事業を実施していく。
評価	①飲食・宿泊業の経営危機を脱するための継続的な支援とその後の消費活性化に向けた取組を評価する。今後は感染状況や経済状況を注視しながらも、持続的に市内商業が活性化できるよう、よりタイムリーな支援策が施行されることを期待する。
①—○	

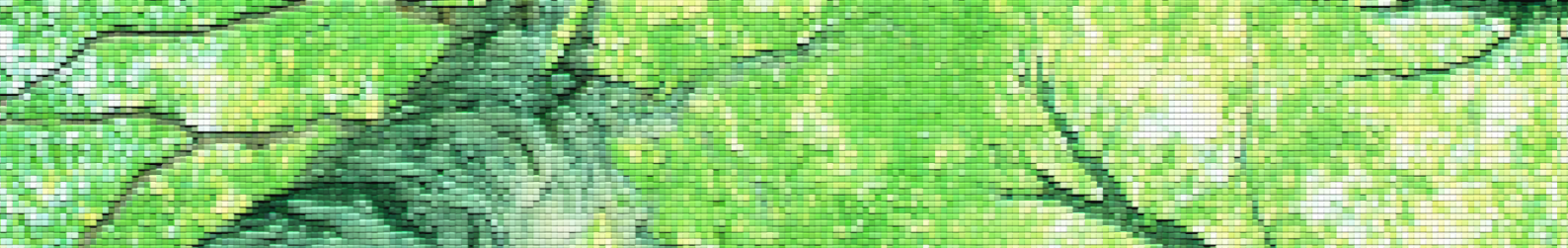
要望内容	<b>自動運転の実用化への取組</b>
具体的内容	① <b>自動運転実証フィールドの拡大</b>
取り上げた理由	①市街地での自動運転実証実験を進めるため、市役所に設置した高精度で位置を測定できるRTK - GPSアンテナの活用を促進し、官民が連携した自動運転の実用化に向けた取組が必要である。
主な回答内容	①ホームページへの掲載等により、民間企業に対してRTK-GPSを活用した自動運転実証の促進を行い、官民連携による自動運転実証の実施及び、実用化に向けて必要な制度、インフラ、仕組みなどを検討する。
評価	①活用促進として周知等PRの実施や自動運転の実用化に向けた、制度・インフラ等の検討を評価する。今後は、RTK-GPSを活用した実証が行われ、自動運転の実用化が一層加速することに期待する。
①—○	

要望内容	<b>豊田市中央図書館の利便性向上</b>
具体的内容	① <b>電子書籍貸し出しサービスの運用</b>
取り上げた理由	①デジタル化による市民サービスを推進するために利用者のニーズを捉え、誰もがいつでも本を借り、スマホやパソコン上での閲覧や自動返却ができる電子書籍の運用に向けた取組が必要である。
主な回答内容	①電子雑誌閲覧サービスの実証実験の結果や既に導入している図書館の状況などを参考にしつつ、電子書籍貸出しサービスの運用を開始する。
評価	①実証実験の結果等をふまえ、電子書籍貸出しサービスを導入することを評価する。今後は市民ニーズに沿った図書館運営の推進により、利用者拡大につながる取組に期待する。
①—○	

政策要望は、全トヨタ労働組合連合会 Web サイトで  
論点整理を含めた完全版が閲覧できます。(2022年9月1日)  
QRコードまたは、「全トヨタ労連ホームページ」の  
「政策推進議員連絡会」より、「豊田市」を選択して下さい。



ゴールアイコン	ゴール	実践計画事業へのゴール設定に係るキーワード
	<b>ゴール1</b> あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧困・社会保護・平等な権利（男性・女性）</li> <li>・ジェンダー</li> <li>・レジリエンス（災害・経済・社会・環境）</li> </ul>
	<b>ゴール2</b> 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料・飢餓</li> <li>・栄養・農業</li> <li>・遺伝資源・生態系</li> </ul>
	<b>ゴール3</b> あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊産婦・新生児・乳児・幼児・感染症・伝染病・保健</li> <li>・医療・福祉・健康づくり・薬物乱用・アルコール依存</li> <li>・たばこ・大気汚染・環境汚染・交通事故</li> </ul>
	<b>ゴール4</b> 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・学習環境・奨学金・教育施設・職業訓練・雇用</li> <li>・起業・ジェンダー・生涯学習・知識</li> <li>・技能習得(すべての人:乳幼児・子ども・若者・高齢者・障がい者など)</li> </ul>
	<b>ゴール5</b> ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女性の能力強化を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>=女性・女兒全般=</li> <li>・権利・差別・暴力・健康・家事労働・参画・リーダーシップ</li> <li>・能力強化・ジェンダー</li> </ul>
	<b>ゴール6</b> 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上水・下水・衛生施設・トイレ</li> <li>・水質・水資源(森林含む)</li> <li>・生態系・地域コミュニティ</li> </ul>
	<b>ゴール7</b> 全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー</li> <li>・エネルギーマネジメント</li> <li>・エネルギーインフラ</li> </ul>
	<b>ゴール8</b> 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済成長・生産・雇用・労働者の権利・仕事・研究</li> <li>・開発・イノベーション・企業・中小企業・観光</li> <li>・就労・就学・職業訓練</li> </ul>
	<b>ゴール9</b> 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジリエンス(インフラ)</li> <li>・雇用・産業・企業・中小企業</li> <li>・研究・開発・イノベーション・環境技術</li> </ul>
	<b>ゴール10</b> 各国内及び各国間の不平等を是正する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済成長・能力開発(学習・教育)</li> <li>・平等・機会均等・移民</li> </ul>
	<b>ゴール11</b> 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジリエンス(建築物、インフラ、コミュニティ)</li> <li>・まちづくり・住宅・公共交通・文化・文化財保護</li> <li>・自然保護環境保護・廃棄物・緑地・公園</li> <li>・都市と山村・災害(森林の適正管理)</li> </ul>
	<b>ゴール12</b> 持続可能な生産消費形態を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費・生産・天然資源・食料廃棄</li> <li>・汚染(大気・水・土壌)・廃棄物・公共調達</li> <li>・ライフスタイル(エコライフ)</li> </ul>
	<b>ゴール13</b> 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジリエンス(災害、気候変動)・災害</li> <li>・気候変動(環境教育)</li> </ul>
	<b>ゴール14</b> 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>=海洋を守るための河川、陸での取組=(水)(生態系)</li> <li>・漁業 ※海がない他自治体の例を要確認</li> </ul>
	<b>ゴール15</b> 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系・川、池、湖・生物多様性</li> <li>・遺伝資源(品種改良によるものなど)</li> <li>・森林・土壌</li> </ul>
	<b>ゴール16</b> 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暴力・虐待・法規・犯罪・公共機関の透明性</li> <li>・参加型意思決定・身分証明・情報</li> </ul>
	<b>ゴール17</b> 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課税・徴税</li> <li>・パートナーシップ(協力・連携)</li> </ul>



全トヨタ労働組合連合会Webサイト

